

奈良の魅力

「あをによし^{なら}寧楽^{みやこ}の京師は咲く花の

薫^{にほ}ふがごとく今盛りなり」

〔万葉集 巻三・三三八〕

「咲きさがる花のかがやくよう」と万葉集にうたわれ

1300年の歴史を誇る古都・奈良。

日本の国のはじまりを体感できる世界遺産に囲まれ

国宝・重要文化財の建築・仏像が数多く残されている地。

さらに、豊かな自然、古代ロマンを感じることでできる場所。

現代と昔が調和した町並みなど

県内各地に心癒やされるさまざまな魅力が満ちています。

日本の心のふるさと・祈りの聖地 奈良へようこそ。

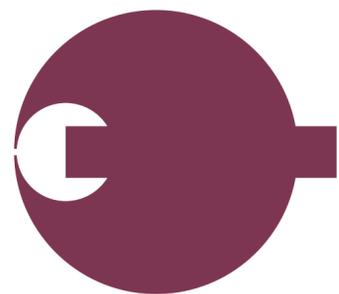
県の位置

東西78.6km、南北103.4kmと南北に長めの長方形の県です。日本のほぼ中央部、紀伊半島の真ん中にあり、大阪府・京都府・和歌山県・三重県に囲まれて海のない内陸県です。



県章

奈良県の「ナ」を図案化したもので、外の円は大和の自然を、内の円は協和の精神をあらわしています。横一文字の軸は、力強い統一とたゆみなき進展をあらわしています。



県の木 スギ

毎日新聞社の提唱により、アセビ、ウメ、サクラ、スギ、モミジの5候補を選考委員会で決め、県民のハガキ投票により、最高票のスギを県の木に指定しました。



県の花 奈良八重桜

県の花選定委員会で、奈良八重桜、山桜、牡丹、梅、馬酔木、藤の6候補の中から選ばれました。



県の鳥 こまどり

コマドリ、アオゲラ、ミソサザイ、オオルリ、カワセミの5候補を選考委員会で決め、県民のハガキ投票により、最高票のコマドリを県の鳥に指定しました。



県のさかな きんぎょ・あゆ・あまご

県のさかな選定委員会で実施した県民アンケートの結果により、上位3種のきんぎょ・あゆ・あまごを県のさかなに指定しました。

